

大竹博氏 講演会

1部 福祉のまちづくり ー当事者参加の実際ー

2部 福祉住環境論 ー日々の暮らしで思うことー



日時 2011年11月22日(火)

13時00分～16時05分

場所 国土館大学梅ヶ丘校舎

34号館B304教室

世田谷区世田谷4-28-1

入場料 無料

お申込み方法

Mail terauchi@kokushikan.ne.jp

FAX 03-5481-3280

お申込み事項

①代表者名

②人数

③ご連絡先

講演プログラム

第一部 (13:00~14:25)

松蔭神社通り商店街と三軒茶屋駅周辺地区のバリアフリーを、精力的に推進された大竹氏の活動について、お話いただきます。福祉のまちづくりにおける当事者参加の実際について、本学教員との対談形式で講演を進める予定です。

第二部 (14:55~16:10)

「住環境」や「日々の暮らしで思うこと」、「福祉機器」など、日常生活で感じる環境でよいこと（よいところ、配慮のあること）、だめなこと、嫌なこと、好きなことなどについて、お話しいたします。

大竹 博 (オオタケ ヒロシ) 1964年生

世田谷区梅丘在住。33歳在職中糖尿病合併症により全盲となる。

昨年まで 世田谷区視力障害者福祉協会副理事長・東京都盲人福祉協会世田谷支部長城南ブロック長・世田谷区UD審議会委員・障害者施策推進協議会委員・三軒茶屋交通バリアフリー推進委員・福祉相談委員 他
梅丘まちづくり塾長 産業能率大学特別講師 全国US協議会講師 日本ケアフィットサービス協会選任講師

「心のバリアフリー」のテーマとして各地にて理解に取り組み、ハード、ソフトのまちづくりの実現に努力をしている。昨年12月世田谷区長より障害者週間特別表彰として自立支援功労者表彰を授与テレビ ラジオ 新聞などのマスメディアにて防災まちづくりそして心のバリアフリーの実現にチャレンジしている話題を取り上げられ活動している。

世田谷区ボランティア協会より職員研修会・視覚障害者情報普及支援協会より行政職員研修として音声コード普及支援研修会・防災講演会（要援護者について）・北沢法人会・玉川倫理法人会他、多数の講演をされている。

メッセージ

今日 誰もが安心 安全にて暮して行くためには日頃からの交流や挨拶などが必要です。子供さん お年寄り 体に不自由な方そして外国人 妊婦さんさんなど多くの方が社会にて共存されております。私は今からおおよそ10数年前にまさか？の全盲の立場になり大変な人生を経験してまいりましたが、だれもが遭遇してしまうかもしれないそして身近に関わる問題なのかもしれないと気づき、障害者だからこそ理解していただきたい、そして多くの方々にお手伝いしていただきユニバーサルな社会の実現を目指して活動致しております。

特に、大きな不安であります災害への備えなどいざの時に役に立つための日頃からの目配り 気配りなどソフト面での理解をテーマにサービス業の現場を経験した事を活かしてハードとソフトの両立にてチャレンジさせていただきます。

頑張ってください。